

＝神への近道(詩篇 27 篇)＝

◎御言葉を知る(詩篇 119:67,71)

67 節-わたしは苦しめない前には迷いました。しかし今はみ言葉を守ります。

71 節-苦しみにあったことは、わたしに良い事です。これによってわたしはあなたのおきてを学ぶことができました。

・イザヤ書 40:8

草は枯れ、花はしぼむ。しかし、われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない。

・イザヤ書 55:11

このように、わが口から出る言葉も、むなしくわたしに帰らない。わたしの喜ぶところの事をなし、わたしが命じ送った事を果す。

◎苦しみの時神が語られる

1 列王記 19 章 神の計画を語られた

ヨブ記 33:19-28 救い主(仲保者)イエスを知る《愛》

◎希望に至る

ローマ 5:3,4 患難→忍耐→練達→希望《希望》

練達＝「試験済みの信仰と試験を経た真実」《信仰》

・1 ペテロ 1:7

こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変わるであろう。

・2 コリント 4:16, 18 永遠の重い栄光(2 コリント 5:1-5)

・マタイ 6:19-21 天に宝を積む

1 コリント 3:12 金銀宝石(永遠の宝たる命のあらわれ)

コロサイ 3:1-4 上にあるものを思うべき(心のある場所)

◎神に近づく道(詩篇 27 篇)

ヘブル 4:14-16(2:17, 18)

ヘブル人への手紙の構造＝幕屋(外<庭>から内<至聖所>への招き)

「仮屋のうちにわたしを潜ませ(詩篇 27:5)」

ヘブル 10:19-22 聖所から至聖所へ 「幕屋の奥にわたしを隠し(詩篇 27:5)」

ヘブル 12:22-24 至聖所から天へ

「岩の上にわたしを高く置かれる(詩篇 27:5)」

ヘブル 13:12, 13 1 コリント 15:50 至聖所に入る条件

ヘブル 12:5-11 訓練の必要性

「主が悩みの日に(詩篇 27:5)」 ヘブル 4:14-16

この部屋こそ天での私達の我が家 ヨハネ 14:1-3

詩篇 27:4

「わたしは一つの事を主に願った、わたしはそれを求める。わたしの生きるかぎり、主の家に住んで、主のうるわしきを見、その宮で尋ねきわめることを。」